

南木曾町リニア中央新幹線 対策協議会

令和5年7月5日(水)

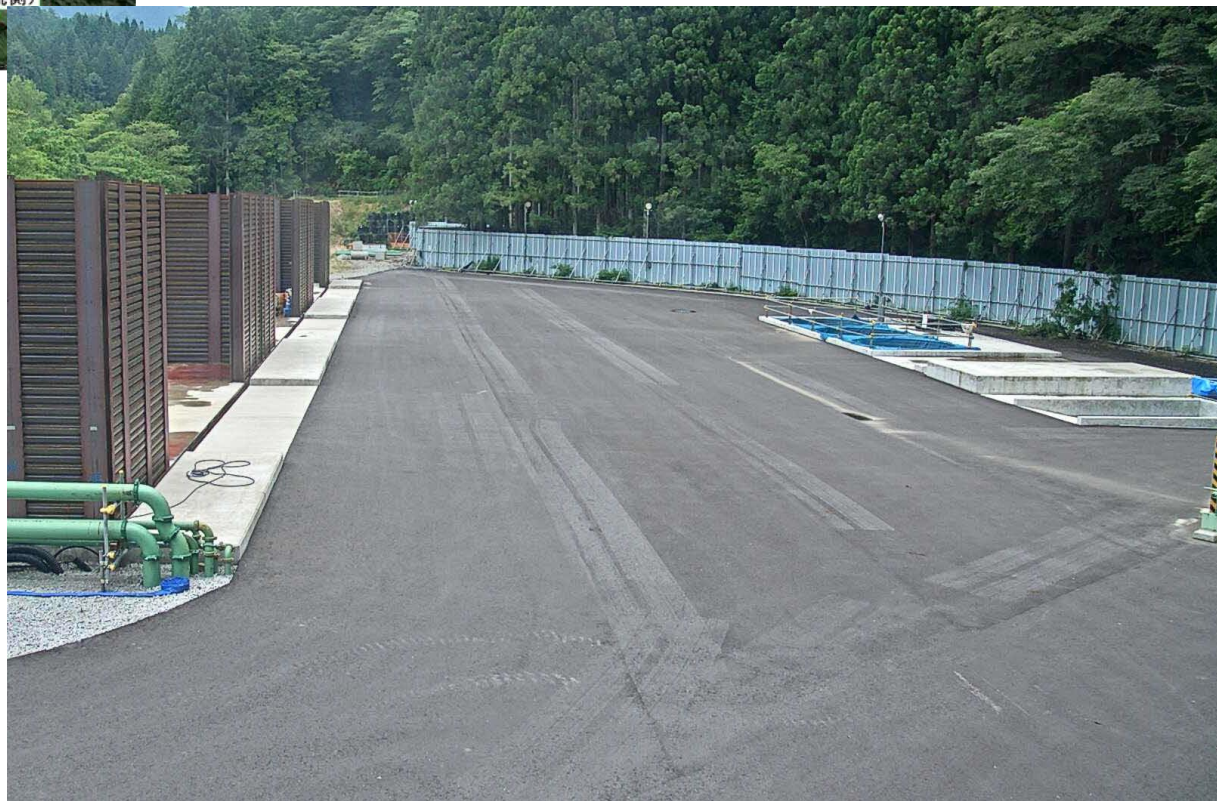
東海旅客鉄道株式会社

1. 各工区の進捗状況について
2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて
3. 尾越工区環境保全計画について

広瀬工区



ヤード整備工 施工状況 (R5.6撮影)



尾越工区



ヤード整備工 施工状況(R5.5撮影)



山口工区



斜坑坑口状況 (R5.1撮影)

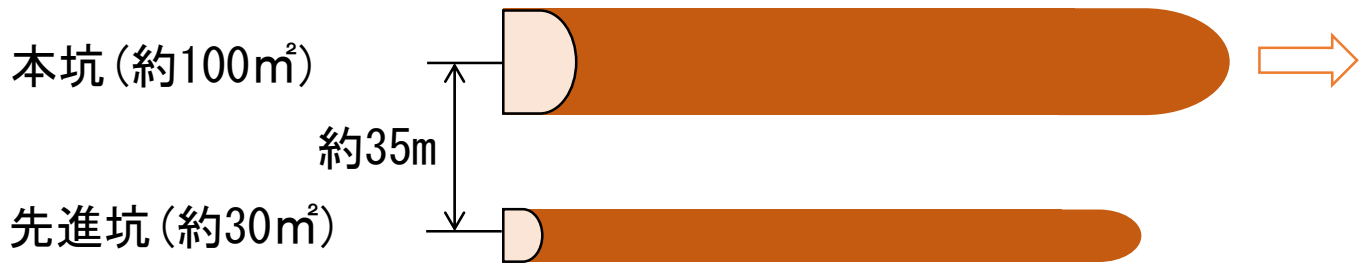


先進坑 (R5.1撮影)

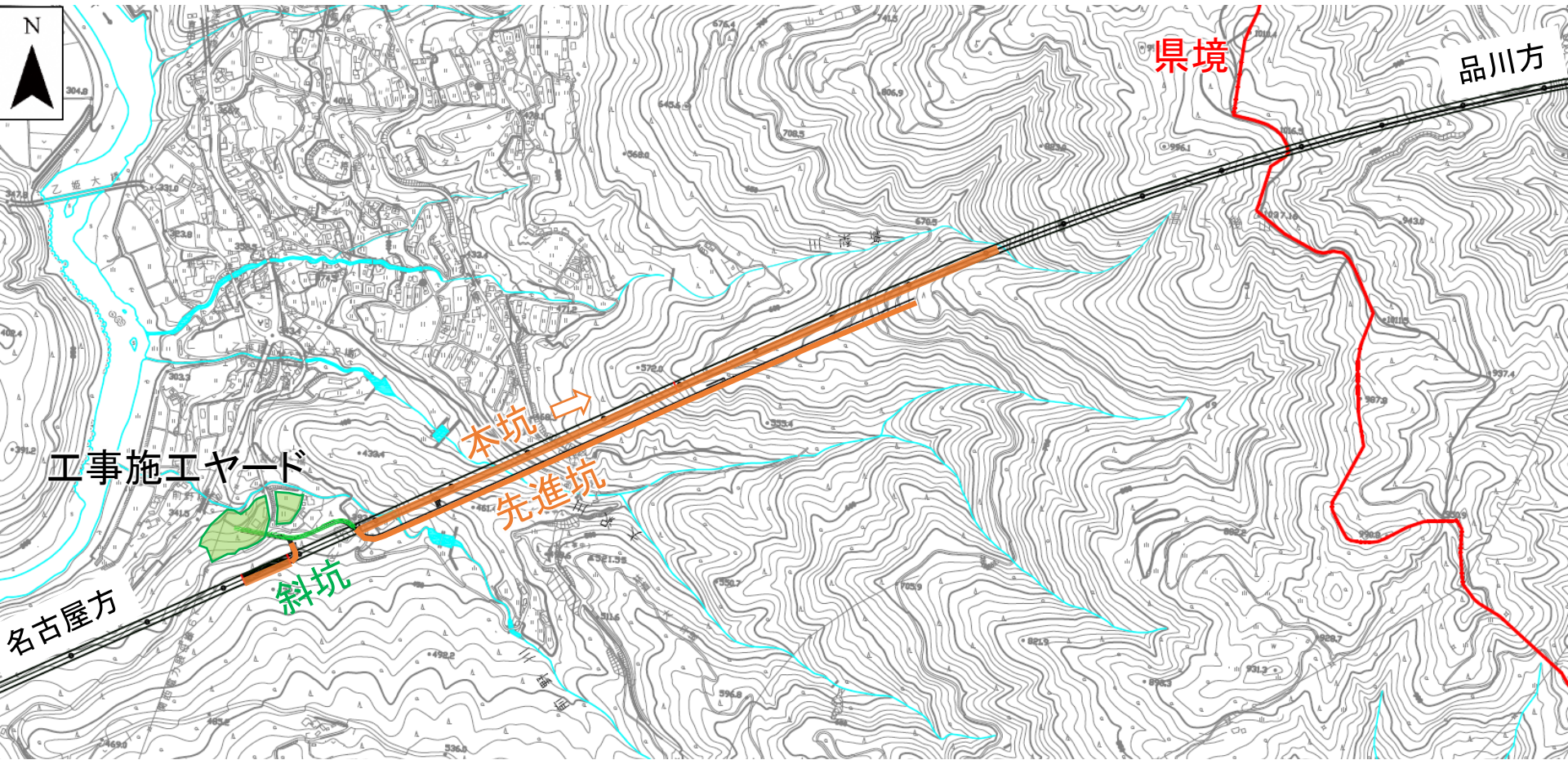


本坑 (R5.5撮影)

1. 工事進捗状況について



※6/20終了時点



2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

工事説明会

- 5月30日(火) : 蘭地区
- 6月 6日(火) : 広瀬地区
- 6月12日(月) : 妻籠地区

【説明内容】

- 尾越工区周辺の発生土置き場候補地※1
- トンネル掘削工事、発生土仮置き場(尾越)※2
 - ・工事概要
 - ・工事用車両の運行計画及び安全対策
 - ・環境保全

※1 尾越工区周辺の発生土置き場候補地については、詳細な計画が決まり次第改めて説明予定です。
※2 発生土仮置き場(尾越)については、盛土条例に基づく説明を含んでおります。

環境保全計画公表

6月27日(火)

2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

主な質問と回答(トンネル掘削、仮置き場等)

木曾川右岸道路事業へ運搬することは初めて聞いた。木曾川右岸道路事業へ搬出した発生土の管理は誰が行うのか。県とは調整済みか。

- ・発生土については、自ら利用や公共事業等での有効活用を優先に考えていた中で、県より木曾川右岸道路事業での活用に係る情報提供をいただき、事業者間で協議を進めていました。この度、県との協議が調ったため尾越工区の発生土等を木曾川右岸道路事業へ運搬します。
- ・発生土等は道路事業に活用されるため、道路管理者である県が管理します。

2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

主な質問と回答(トンネル掘削、仮置き場等)

町道蘭・広瀬線と町道起線との交差点(T字路)が樹木やJV事務所の看板により見通しが悪い。また、町道蘭・広瀬線から町道起線に出る際、町道起線の工事用車両の通行量が多く心配である。

- ・近日中に樹木の伐採及び看板の移設を行います。(現在は伐採済み、看板移設済み)。
- ・町道起線を通行する工事用車両は、町道蘭・広瀬線から町道起線へ出る一般車を優先することをルール化し、運転手にルールを徹底させます。

2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

主な質問と回答(トンネル掘削、仮置き場等)

町道起線と国道256号線の交差点について、交差点改良を地元が要望していたと思うが、検討状況を教えてほしい。

- ・準備工前に警察等と協議し、交差点改良(左折レーンの設置)をした場合、工事期間中においてダンプトラック等の工事用車両と一般車が横並びになった場合、工事用車両が一般車の見通しを妨げる恐れがあり、改良前より不安全になる可能性があるとの見解を得ました。
- ・この見解を踏まえ、交差点改良は工事期間中にはしませんが、工事完了後については別途検討します。

2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

主な質問や要望（尾越工区周辺置き場）

- ・尾越工区周辺の置き場に関しても以下のようなご指摘・ご要望がありました。ご指摘・ご要望も踏まえ、詳細な計画が決まり次第改めて説明会にてご説明いたします。

尾越

- ・容量が減ったのはなぜか。
- ・特殊精砒の盛土は調査したのか。
- ・大雨の際には周辺の水路から水があふれており、その水が尾越へと流れているため、対処してほしい。

押出南

- ・川側は雨が降るとすぐに土が流れているため不安である。

押出北

- ・放棄されたままとなっているため、発生土を使いきれいにしてほしい。

2. 尾越工区の工事説明会及び今後のスケジュールについて

今後のスケジュール

- ・斜坑掘削開始 : 2023年10月初
- ・発生土仮置き場(尾越)整備 : 2023年11月初

年度 項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
準備工				今回対象
トンネル掘削工				
覆工・路盤工				
右岸道路運搬				
発生土置き場整備等				

3. 尾越工区環境保全計画について

中央新幹線中央アルプストンネル新設 (尾越工区)工事における 環境保全について (トンネル掘削作業)

- 第1章 本書の概要
- 第2章 工事の概要
- 第3章 環境保全措置の計画
- 第4章 事後調査及びモニタリング
- 参考 水資源に係る具体的な調査地点ほか

<本書の概要>

本編P1

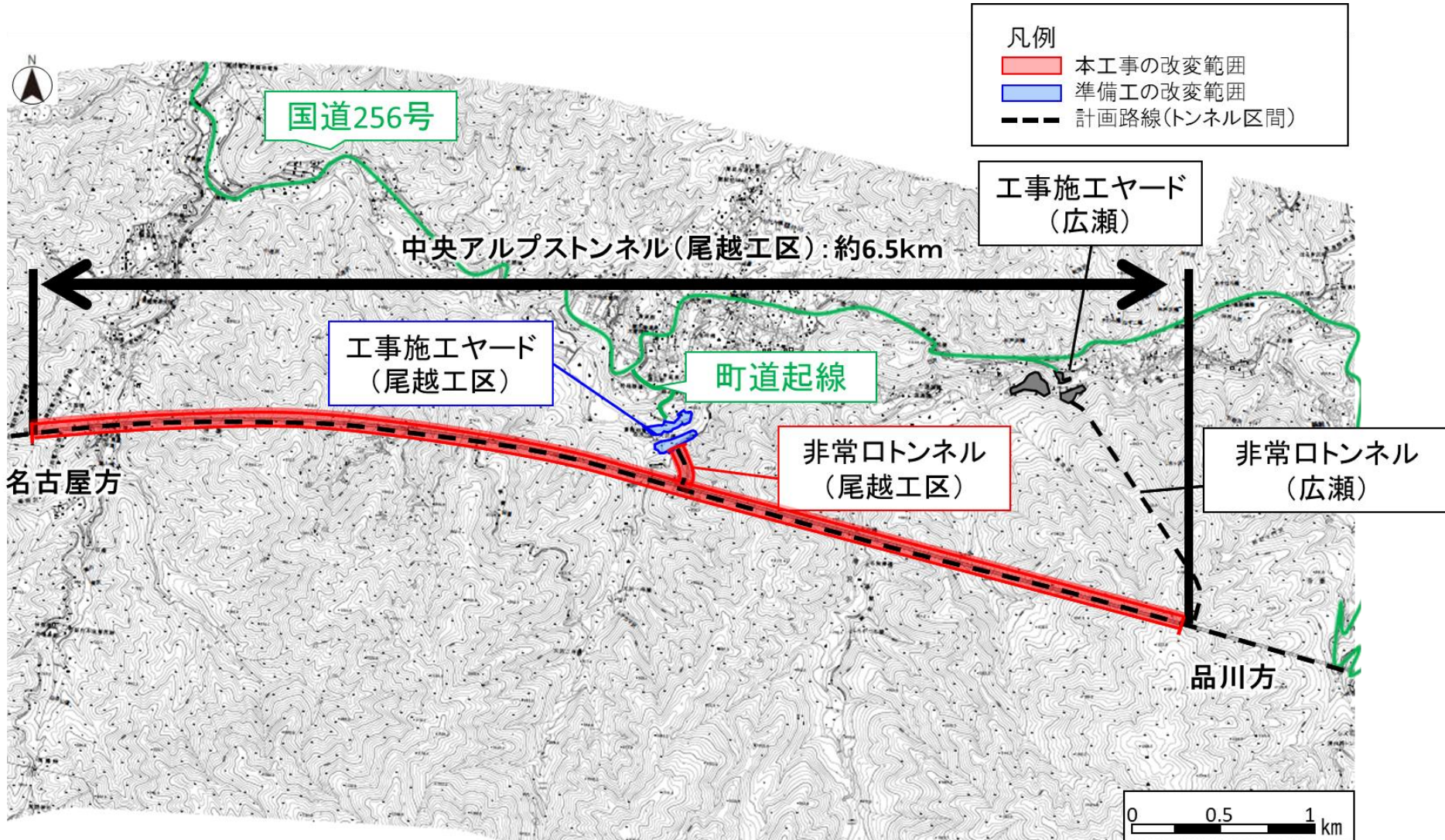
本書は、中央新幹線中央アルプストーンネル新設(尾越工区)工事を実施するにあたり、「中央新幹線(東京都・名古屋市間)環境影響評価書【長野県】平成26年8月」(以下、「評価書」という。)に基づいて実施する環境保全措置と、評価書及びこれに基づく「事後調査計画書(平成26年11月)」に基づいて実施する事後調査及びモニタリングの具体的な計画について取りまとめたものである。

対象とする工事は、中央新幹線中央アルプストーンネル新設(尾越工区)工事のうち、図1-1に示す本線トンネル及び非常口トンネルのトンネル掘削工(以下、これらを「本工事」という。)である。

なお、本工事に先立ち施工した工事施工ヤード造成、仮橋架設工、仮設備工、道路改良工事(以下、これらを「準備工」という。)に関する内容については、「中央新幹線中央アルプストーンネル新設(尾越工区)工事における環境保全について(工事施工ヤード造成等)」として、令和2年12月に公表している。

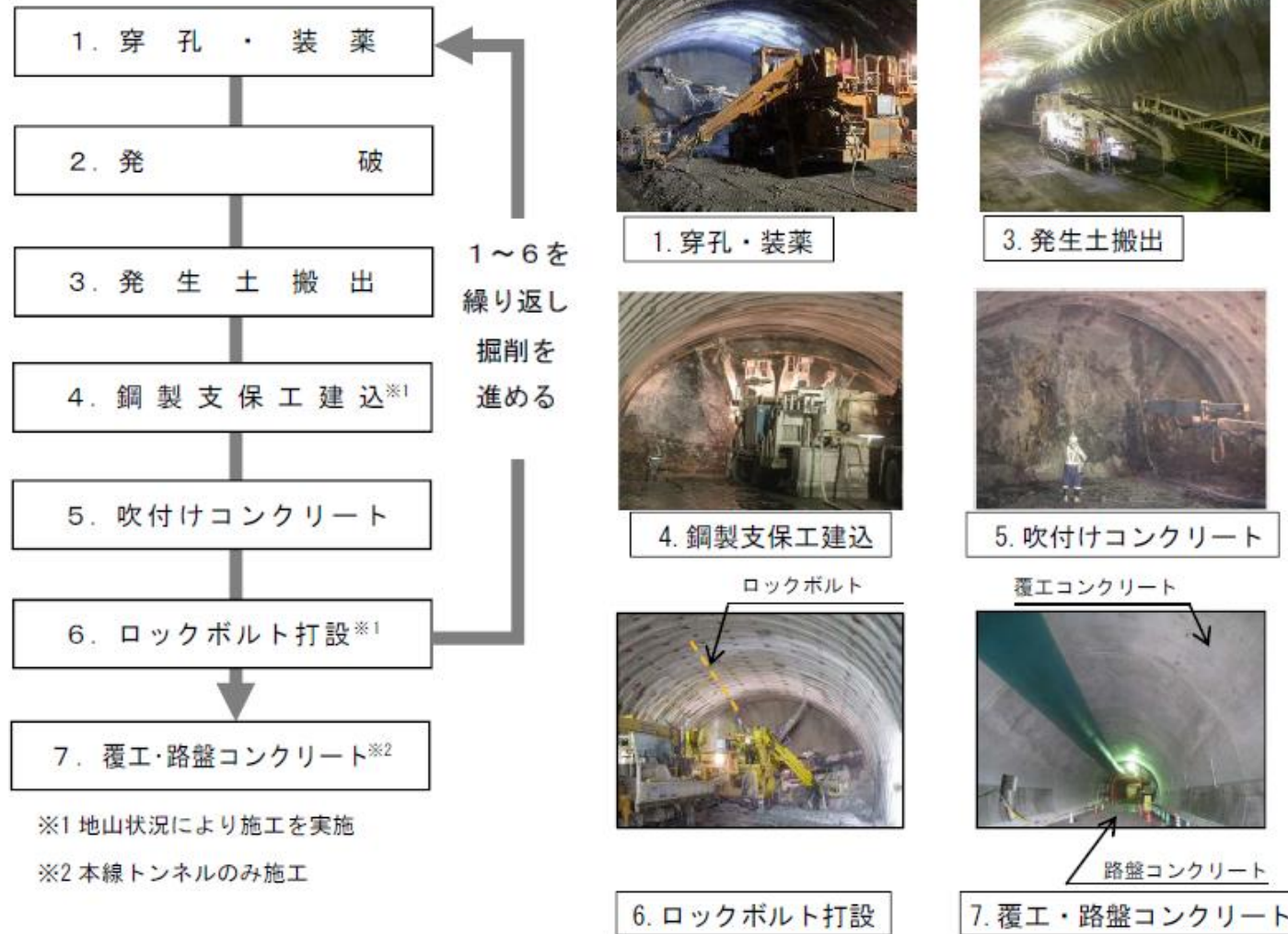
※スライド右上端部に「中央新幹線中央アルプストーンネル新設(尾越工区)工事における環境保全について」(以下、「本編」とする。)のページ番号を記載しています。

<本書の対象区間>



※尾越工区の施工延長は進捗により変動する可能性がある。

<工事計画及び施工手順>



<環境保全措置の検討方法>

【準備工にて実施】

施設や工事施工ヤードの詳細な計画にあたり、
重要な動植物の種が生息・生育する箇所をできる限り回避するとともに、
重要な地形及び地質等その他の環境要因への影響も考慮し
地形の改変範囲をできる限り小さくするよう計画



【準備工、本工事にて実施】

そのうえで、工事による影響を低減させるための環境保全措置を
現場の状況に即し、

- ・ 建設機械、仮設設備等のハード面
- ・ 係員配置、教育・指導、設備のメンテナンス等のソフト面

から検討



【本工事にて実施】

必要な場合には、環境を代償するための措置について検討

<重要な種の生息・生育地の回避の検討>

- 工事施工ヤードの検討にあたっては、使用する設備の必要面積や設備配置を考慮したほか、工事施工ヤード周辺には重要な種が存在することから、重要な種の生息・生育地の回避検討を行い、重要な種への影響について回避を図りました。
- 本環境保全計画対象範囲において、影響を回避できなかった重要な種はいません。

※希少種保護の観点から位置等の情報については非公開にしています。

【主な環境保全措置(水環境)】

本編P29

環境要素	環境保全措置	環境保全措置の効果	実施箇所等
水資源	応急措置の体制整備 代替水源の確保	地下水等の監視の状況から地下水位低下等の傾向が見られた場合に、速やかに給水設備等を確保する体制を整えることで、水資源の継続的な利用への影響を低減できる。また、水量の不足などやむを得ず重要な水源の機能を確保できなくなった場合は、代償措置として、水源の周辺地域において、速やかにその他の水源を確保することで、水資源の利用への影響を代償できる。	水資源の利用がある箇所において、事後調査やモニタリング調査の結果から、地下水低下等の傾向が見られた場合は、すみやかに給水設備等を確保する体制を整える計画とした。 なお、南木曾町内の水道水源に対しては、南木曾町との協定書※に基づき、予備的措置として代替水源の確保を実施する。

※ 長野県水環境保全条例第6条及び長野県指令29水大第378号(平成30年3月27日)の水道水源保全地区内における行為に対する知事同意の条件に基づき、南木曾町内の水道水源に対し必要な対策を行うこととし、その内容について南木曾町と令和元年12月11日に「南木曾町における中央新幹線建設工事に伴う水道水源予備的措置に関する協定書」を締結した。

<事後調査の実施内容>

本編P41

環境要素の 区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
水資源	水量（湧水の水量、 地表水の流量）、水 温、pH、電気伝導率、 透視度	南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画について（平成28年10月）に記載 ※水資源に係る具体的な調査地点を参考1に記載する。	

<モニタリングの実施内容>

環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
大気質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等	図4-1	工事最盛期に1回（四季調査）
騒音・振動		図4-1	工事最盛期に1回
水質	浮遊物質（SS）、水温、水素イオン濃度（pH） 自然由来の重金属等※1	図4-1	工事前に1回 工事中に1回/年（低水期）
水資源	水量（湧水の水量、地表水の流量）、水温、pH、電気伝導率、透視度、自然由来の重金属等※1	「南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画について（平成28年10月）」に記載。 ※水資源に係る具体的な調査地点を参考1に記載する	
土壌汚染	自然由来の重金属等※1、酸性化可能性	「3-4-3土壌環境（重要な地形及び地質、地盤沈下、土壌汚染）」に記載	
動物 植物	河川の周辺に生息・生育する重要種	工事中の水位観測により減水の兆候の見られた箇所	各種の生活史及び生息・生育特性に応じ、専門家等の助言も得て実施する。

※1 カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素、ほう素を自然由来の重金属等とする。

- ・ その他、モニタリングとは別に工事施工ヤードでの騒音・振動について日々簡易計測を行い、その結果も踏まえて影響の低減を図る。

<モニタリングの調査地点図>

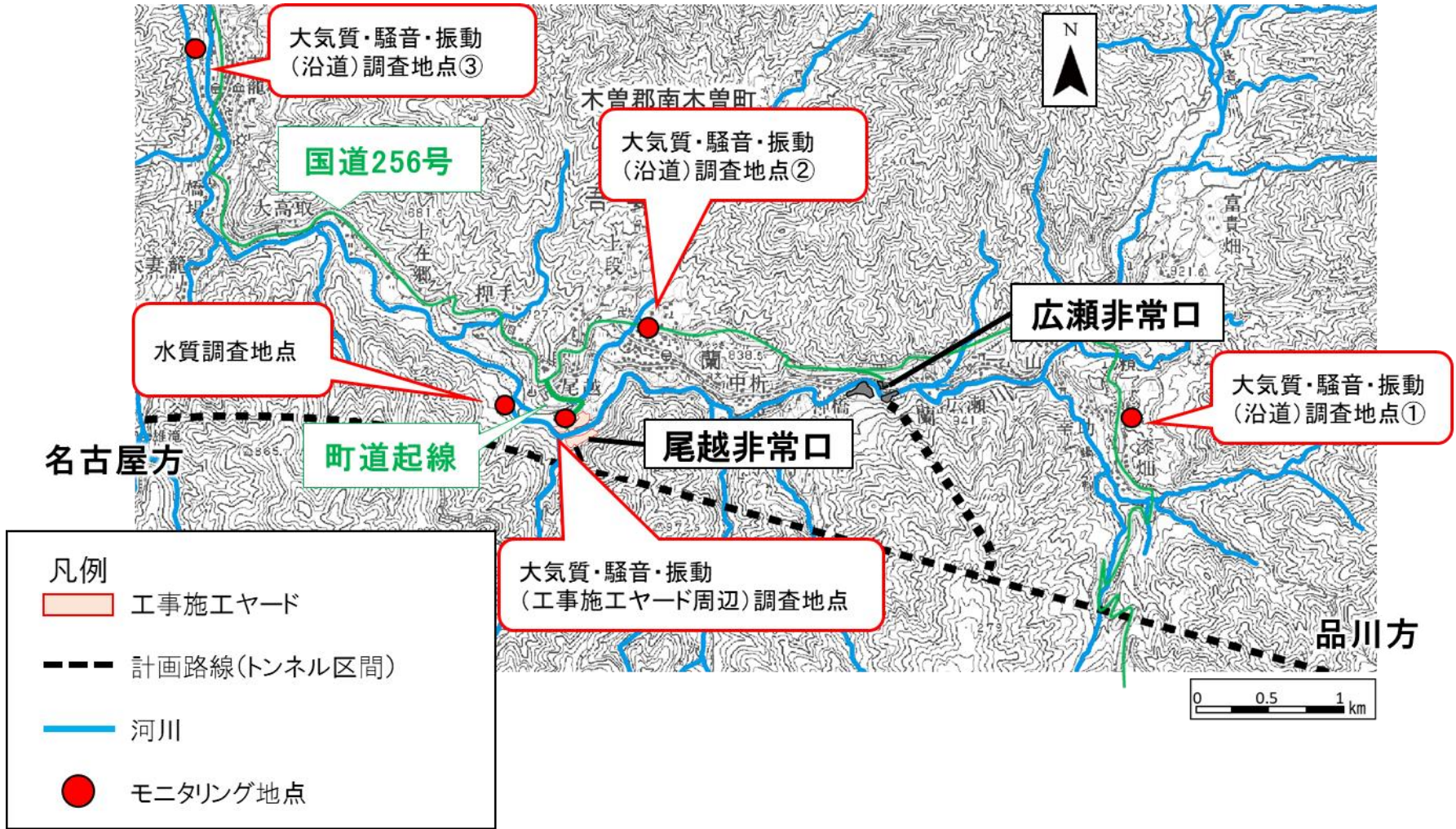


図4-1 モニタリング調査地点